

品質管理基準及び規格値 新旧対比表

平成27年

平成28年度(改正)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	備考	試験成績表等による確認
2 コンクリート製品(部)	材料	必須	JISマーク確認 又は「その他」の試験項目の増設	目視 (写真撮影)				
		施工	製品の外觀検査(角欠け・ひび割れ調査)	目視 (写真撮影)	有害な角欠け・ひび割れの無いこと	全数		
3 コンクリート製品(部)	材料	必須	製品検査結果 (寸法・形状・外観・性能試験) ※協議をした項目	JIS A 5363 JIS A 5371 JIS A 5372 JIS A 5373	設計図書による。	製造工場の検査ロット毎		○
		施工	JISマーク確認 又は「その他」の試験項目の増設	目視 (写真撮影)				
4 コンクリート製品(部)	材料	必須	セメントのアルカリ反応対策	アルカリ骨材反応抑制剤について(平成14年7月31日付け国官注第112号、国官注第112号、国官注第35号、国官注第78号)	「アルカリ骨材反応抑制剤について」(平成14年7月31日付け国官注第112号、国官注第35号、国官注第78号)	1回/6ヶ月以上および産地が変わった場合。		○
		必須	コンクリートの塩化物物質量規制	「コンクリートの耐久性向上」	原則0.3kg/m <sup>3</sup> 以下	1回/月以上 (塩化物量の多い砂の場合1回以上/通)		○

2-163

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	備考	試験成績表等による確認
4 コンクリート製品(部)	材料	必須	コンクリートのスランプ試験/スランプフロー試験	JIS A 1101 JIS A 1150	製造工場の管理基準	1回/日以上		○
		必須	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3回の供試体の試験値の平均値)	1回/日以上		○
		必須	コンクリートの空気量測定 (凍害を受ける恐れのあるコンクリート製品)	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	JIS A 5364 4.5±1.5% (許容差)	1回/日以上		○
	その他(「B」の範囲に属する材料は除く)	必須	骨材のふるい分け試験(粒度・粒形率)	JIS A 1102 JIS A 5005 JIS A 5011-1~4 JIS A 5021	JIS A 5364 JIS A 5308	1回/月以上および産地が変わった場合。		○
		必須	骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110 JIS A 5005 JIS A 5011-1~4 JIS A 5021	JIS A 5364 JIS A 5308	1回/月以上および産地が変わった場合。	JIS A 5005 (砕砂及び砕石) JIS A 5011-1 (高圧スラグ骨材) JIS A 5011-2 (圧縮力33%) 細骨材 JIS A 5011-3 (固形) 細骨材 JIS A 5011-4 (電気処理7%) 細骨材 JIS A 5021 (2分) 粗骨材	○
		必須	骨材のすりへり試験	JIS A 1121 JIS A 5005	JIS A 5364 JIS A 5308	1回/年以上および産地が変わった場合。		○
		必須	骨材の微細分置試験	JIS A 1103 JIS A 5005	細骨材: 1.0%以下 粗骨材: コンクリートの表面がすりへり作用を受ける場合3.0%以下、その他の場合5.0%以下。砂およびスラグ骨材を用いた場合はコンクリートの表面がすりへり作用を受ける場合5.0%以下その他の場合7.0%以下)	1回/月以上および産地が変わった場合。 (微細分量の多い砂1回/通以上)		○
		必須	砂の有機不純物試験	JIS A 1105	標準色より濃いこと。濃い場合でも圧縮強度が90%以上の場合は使用できる。	1回/年以上および産地が変わった場合。	濃い場合は、JIS A 1142「有機不純物を含む細骨材の圧縮強度による試験方法」による。	○
		必須	骨材中の粘土含量の試験	JIS A 1137	細骨材: 1.0%以下 粗骨材: 0.25%以下	1回/月以上および産地が変わった場合。		○

2-164

品質管理基準及び規格値 新旧対比表

平成27年

平成28年度(改正)

工種	種別	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	換要	試験成績等による確認	
4	材料	その他「JISマーク」表示された「レディミクストコンクリート」を指定する場合は除く	試験ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122 JIS A 5005	骨材: 10%以下 骨質材: 12%以下	砂、砂利 製作開始前、1回/6ヶ月以上及び産地が変わった場合。 砕石、砕石: 製作開始前、1回/年以上及び産地が変わった場合。		○
			セメントの物理試験	JIS R 5201	JIS R 5210 (ポルトランドセメント) JIS R 5211 (高炉セメント) JIS R 5212 (シリカセメント) JIS R 5213 (フライアッシュセメント) JIS R 5214 (エコセメント)	1回/月以上		○
			セメントの化学分析	JIS R 5202	JIS R 5210 (ポルトランドセメント) JIS R 5211 (高炉セメント) JIS R 5212 (シリカセメント) JIS R 5213 (フライアッシュセメント) JIS R 5214 (エコセメント)			○
			コンクリート用骨材 ・化学試験	JIS A 6201 JIS A 6202 JIS A 6204 JIS A 6205 JIS A 6206 JIS A 6207	JIS A 6201 (フライアッシュ) JIS A 6202 (骨質材) JIS A 6204 (化学試験用) JIS A 6205 (砂利) JIS A 6206 (高炉スラグ骨質材) JIS A 6207 (シリカフェューム)	1回/年以上 ただし、JIS A 6202 (骨質材) は1回/3ヶ月以上、JIS A 6204 (化学試験用) は1回/6ヶ月以上	試験成績による。	○
			練混ぜ水の品質試験	上水道水及び上水道 水以外の水の検査 JIS A 5208(付属書)	懸濁物質の量: 2g/L以下 溶解性固形物の量: 1g/L以下 塩化物イオン量: 200mg/L以下 セメントの固形物の量: 粉数は20分以内、経数は40分以内 モルタルの互換性: 材齢及び28日で90%以上	1回/年以上及び水質が変わった場合。	上水道を使用している場合は試験に加え、上水道を使用していることを示す資料による確認を行う。	○
			材料	必須	JIS G 3101 JIS G 3109 JIS G 3112 JIS G 3117 JIS G 3137 JIS G 3206 JIS G 3231 JIS G 3232 JIS G 3236 JIS G 3238 JIS G 3251 JIS G 4222 JIS G 5502	JIS G 3101 JIS G 3109 JIS G 3112 JIS G 3117 JIS G 3137 JIS G 3206 JIS G 3231 JIS G 3232 JIS G 3236 JIS G 3238 JIS G 3251 JIS G 4222 JIS G 5502	1回/月又は入荷の都度	試験成績による。
施工	必須	製品の仕様書(欠欠け・ひび割れ調査)	目視検査(写真撮影)	異常な欠欠け・ひび割れの無いこと	全数			